

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価結果

大 学 名	東京医科歯科大学
整理番号	A05
構 想 名	TMDU型グローバルヘルス推進人材育成構想：地球規模での健康レベル向上への挑戦

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント) <p>本構想は、国立大学で唯一の医療系総合大学として、医療保健分野で世界規模での健康レベル向上に貢献出来るグローバルヘルス推進人材の育成を目的に、大学のガバナンス体制強化、教育改革、海外拠点強化とそれらを活かした教育研究の展開等により、アジアにおけるグローバルヘルス推進人材育成/研究拠点としての地位の確立、世界規模の健康課題克服のための革新的ソリューションの提供、グローバルヘルス推進に取り組む国内外機関との強固なパートナーシップ・ネットワークの形成、という3つのゴールを目指すものである。</p> <p>構想実現のための体制整備として、全学的かつ部門横断的な「統合教育機構」と「統合国際機構」を新設し、学内の人的資源の集約や国際化に向けた取組が着実に実施されている。入試改革では特別選抜枠における国際バカロレア導入などの多面的な入学者選抜が進められ、大学院修士・博士課程では外国語のみで修了出来るコースの増設や、グローバルヘルスリーダー養成コースの開講が予定されている。また、海外拠点を活用した教育研究展開を積極的に進めるなど、専門性の高い医療系大学でありながら、国際化のための様々な取組を行っている点は評価に値する。</p> <p>一方で、比較的小規模な大学としては執行体制がやや複雑であり、対応部署やその陣容が見えづらいものとなっている。また、ガバナンス面や教育改革では順調な進捗が見られるが、研究面における対応については十分とまでは言えず、今後の研究ユニット誘致計画に向けた取組や、国際共著論文の増加等のための積極的な検討が必要である。学士課程では国民の健康増進を担う医療系専門職業人の育成のため日本語による教育が中心とならざるを得ず、大学院課程と比して国際化には後れを取っているが、海外での研究実習・臨床実習のためのカリキュラム整備を行うなど、教育の質的向上に努めており、今後の進展に期待したい。</p> <p>医学・歯学系分野に特化した大学の特性を活かし、自己財源等の投入により、本構想の旗艦的取組であるグローバルヘルスリーダー養成コースの開設準備や小規模大学世界ランキングでの向上を図るなど、多くの取組を積極的かつ着実に実行している点は高く評価出来る。現在行われている世界トップレベルの大学との連携や、海外メディアへの成果発信を通じた国際ブランディング等を更に推進し、医療系総合大学としてより一層の競争力強化が図られることを期待する。</p>	